

松 風

■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑 120
 ■発行人 石川 元亨

平成23年度 第1回幹事会 開催

平成23年5月21日 午後3時より 新松戸キャンパス

当初、4月23日に開催予定でした。震災のため、新年度に多少ずれ込みましたが、第1回が開催されました。

幹事31名、事務局6名の参加をもって開会されました。年度当初の議題とともに、大震災関連についての報告と意見交換がおこなわれました。

議 題

●収支決算

平成22年度校友会 収支決算書、および監査報告がなされ承認されました。(平成22年度決算、及び平成23年度予算については2号にて掲載、御参照下さい。)

●校友会支部総会開催について

□支部活性化方針に基づき、支部総会開催を促進支援する
 また、問題点などについても議論されました

参加が少ない。

平均十数名の出席である

どのような改善策があるか

□大学主催父母懇談会開催に連携した総会の開催

3地区予定 (近畿-10月、新潟、盛岡——11月)

本部職員の支部総会への参加

タイアップ開催の効果

年度内開催予定の支部意向の把握、本部支援作業の計画化

□入学志願者募集のお願い

参考 2011年新入生 1550名 (2010年と同じ)

支部総会等を通して広報努力をお願いしたい。

□就職支援

平成22年度 全国大学平均就職率70%位のところ、当校は90.7%と高いレベルであった。OBの方々のより一層の御支援をお願いしたい。

開会にあたり挨拶される石川校友会長



審議する幹事諸氏



●会則改正

要旨 会長、副会長の役職定年を定め満70才とする。
 又、再任は3期まで(1期2年)とする。
 承認されました。

●評議委員選出

大学(日通学園)評議委員の選出候補として校友会は (2011年4月改選 1期2年) 以下 6名を推薦し承認された

石川元亨、羽田昇、堀内淳弘、蛭原敏男 (1期) 渡邊佳昭 (2期) 伊達和夫 (5期)

報 告

東日本大震災の大学への影響

●施設の損壊

体育室——窓ガラス枠落下、ガラスの破損、壁のひび割れ

武道館——耐震診断の結果—使用不可

トレーニングセンター(旧食堂)——同上——取り壊し

図書館——ほとんどの蔵書落下

研究棟——各部屋の本棚ほとんど倒壊

●行事の中止および延期

卒業式 3月20日予定 —— 中止

入学式 4月 1日予定 —— 4月16日

青春祭 6月予定 —— 中止

●学生及び家族関係罹災者支援について

家屋の損壊度合いにより 2011年度学費の全額あるいは半額減免

後援会よりの支援——家屋の損壊度合いにより5~10万円支給

現役学生では——本人及び家族には人的損害はないが、家屋の損壊で30数人程度の支援の申し込みがあった。

●校友会会員の被害については把握できていない。

又、具体的な支援の有り方についても議論されたが結論までに至らなかった。

記事募集

会員同士の交流の情報をお寄せください。飲み会、記念パーティー、ゴルフ会、クラブ OB会など。また、学生時代の思い出などでも結構です。はがき、手紙、メールなどでまずお知らせください。必要ならこちらからご連絡致します。

平成23年度第2回幹事会 開催

平成23年9月10日 午後3時より 新松戸キャンパスにて

今回は主に支部活動関係についての審議が行われました。

参加 幹事29名、事務局4名

支部総会開催について

地域ごとの会員の組織化(支部設立、運営)は一部地域を除きほぼ全国をカバーされました。

状況 未組織—山形、山梨

会員数等の関係で広域組織—中部

意見表明される菅谷千葉支部長



閑話休題

時に、会議後懇親会がもたれることがあります。会議の開会は午後3時。2時間近く審議、議論を続けると結構つかれます。

ほぼ予定議事が終了しかかると、会長は一細かな話は席を改めて一と引き取ります。会を早々に締めます。

大学キャンパスを出ると幹事諸氏はとたんに一日の仕事を終えた夕方のおじさんの顔に戻ります。もうこの流れの方向は誰に

(名古屋)、近畿(大阪)、北陸(富山)、四国(香川)、中国(東西)、九州(南北)
あと各県一計24支部。
職域支部一2支部。
海外(台湾、中国、韓国)となっておりま

ただ会の運営については各々の地域の特性により試行錯誤といったところが実情のようであります。

も止めることはできません。ネオンと人込みの中を会場へ。ふと40年前の新松戸などと昔の記憶も頭をよぎります。

慰労の挨拶の声もそこそこに、一日の疲れをいやす一杯が口に入ります。(遠くから、朝早く出て参集される幹事も多数おられます。お疲れ様でした)そして、学生時代のこと、仕事、今自分が住んでいる地域のことなど話題は尽きません。外が暗くなるにつれ杯も重なり、宴も続くのでした。

本部としては各支部において会員同士の直接的な接触の機会をつくり結束を深めるという目標のもと支部総会の開催を支援しています。

今期は今現在13支部にて計画されました。一部実施済み。

本年度は諸事情により開催が後半10、11月に集中し本部の支援作業や本部役員の派遣に負担が偏りました。

支部役員は職業上の現役世代も多く、その関係での支部役員の異動も2、3件発生した。組織の充実を図り、安定的な運営を行うことが望まれます。

大学教員、本部役員と会員との幅広い交流と情報交換を図る目的で現役学生の父母懇談会の日程と合わせて支部総会を開催するという試みも実施されました。7会場。

多人数の本部関係者の出席により、今まで以上に、様々な大学、本部情報が得られるものと期待されます。

各支部状況報告

出席した各支部長より各支部の状況、運営方法、取り組み、希望、課題、等種々の意見、報告がなされました。

- 例 支部の日常的な活動は(効果的な)
 総会欠席者(大多数)との継続的なコンタクト方法とは(議事録の送付)
 きめ細かな運営をすると個別負担も増加する、その対応。
 各地区で活躍するOB(スポーツ特にサッカーリーグ所属選手)への支援は
 はがき等物理的な広報運営だけでなくメール、WEB、携帯など負担の少ない手段の活用は
 大学行事(大学祭)への協賛参加は
 支部長の生の声が上がって、おおいに出席者全員参考になりました。

支部会旗の配布

昨年本部役員が韓国支部総会に出席した折、当支部が支部旗を掲げていたことに大いに感銘を深め、全支部でも実施したらとの発案で製作、配布されました。なお、製作は韓国支部に依頼されました。

今後、支部行事、集会の折に掲示され支部、会員の士気、結束をおおいに高めることでしょう。



参考 新潟支部会旗

編集局だより

今回は幹事会等本部活動の報告が主になりました。支部の会員総会が後半に集中したため楽しい報告は先送りとなりました。それは次号をお楽しみに。

なお本来は行事、計画等については日程を明記すべきところですが、本誌はタイムリーな発行に欠けるところがありますので混乱を避けるため今は結果報告となっています。残念ですがご理解のほどを。行事予定情報はホームページに掲載されています。そちらをご確認下さい。

